

## 計画の前提

### 1.1 計画の目的

愛知県では、愛・地球博の主会場となっている愛知青少年公園について、博覧会終了後の新しい公園整備のための計画づくりを、平成16年度から進めている。

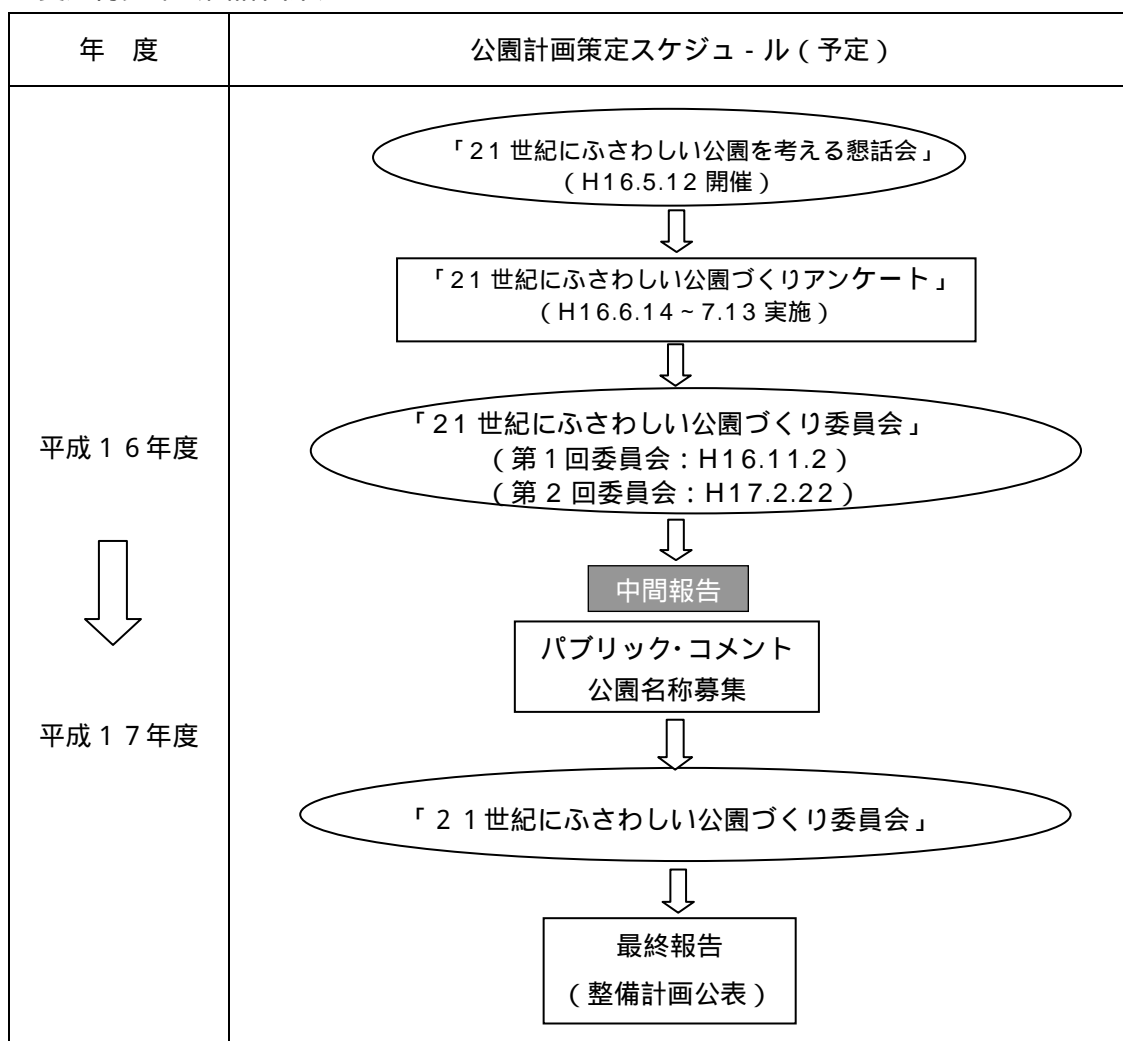
新公園の計画づくりは、有識者で構成される「21世紀にふさわしい公園づくり委員会」を設置し検討しているが、これに先立ち、「21世紀にふさわしい公園を考える懇話会」（平成16年5月）および「県民意見聴取（アンケート調査）」（平成16年6月）を実施した。

本報告書は、「21世紀にふさわしい公園づくり委員会」において、平成16年度に検討した「整備・活用の方針（案）およびゾーニング」について、新公園計画の中間報告としてとりまとめたものである。

なお、計画策定のスケジュールは以下に示すとおりである。

委員については、p.38 参照

#### 愛知青少年公園計画策定のスケジュール

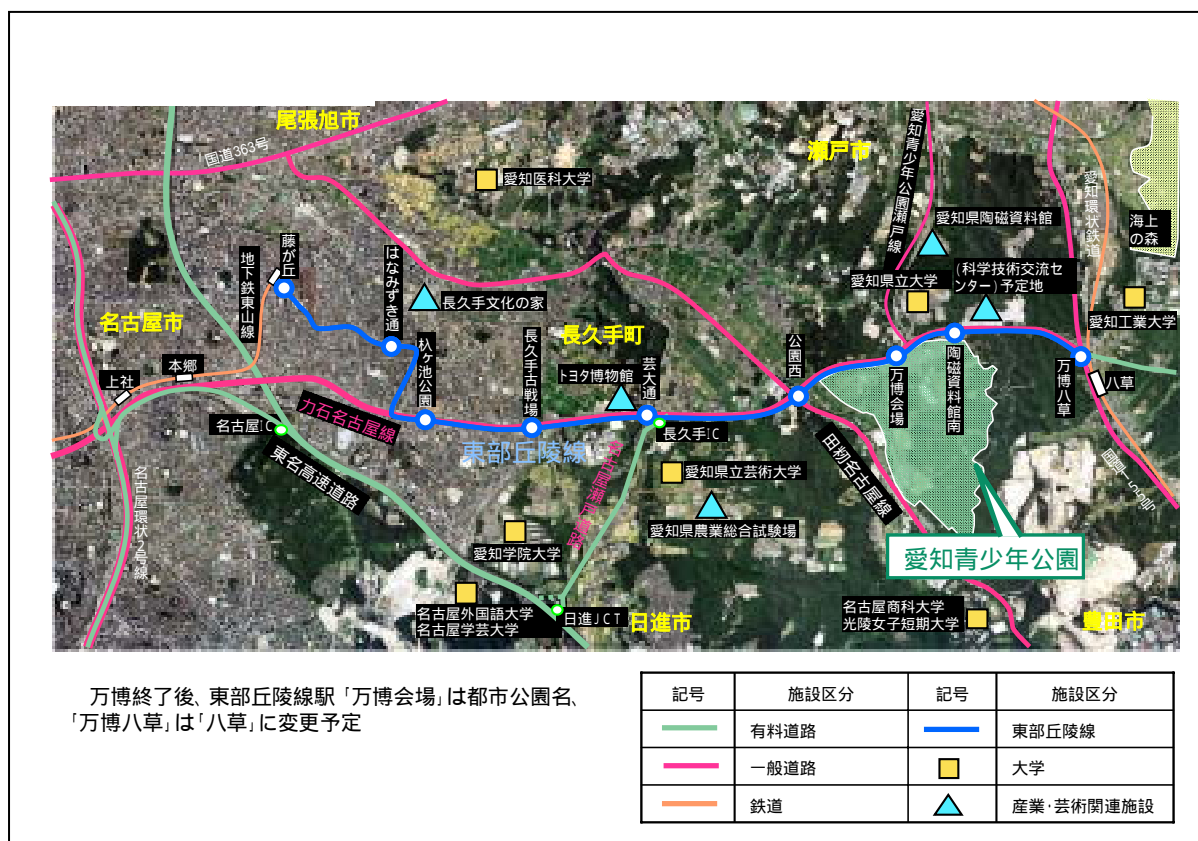


## 1.2 公園の規模・位置

愛知青少年公園は、敷地面積約190ha、長久手町南東部に位置し、敷地の東部は瀬戸市と豊田市に接している。尾張丘陵の緩やかな起伏を持った緑豊かな丘陵地にあり、周辺には大学や研究機関等の集積も見られ、文化性の高い立地環境となっている。

本公園へのアクセスは充実している。公園北側に主要地方道力石名古屋線、西側に県道田柄名古屋線が通る。また、愛・地球博開催に合わせてリニアモーターカーによる東部丘陵線(リニモ)が開業し、地下鉄藤ヶ丘駅を經由して名古屋市都心部から鉄道で結ばれている。さらに、日進JCT～長久手ICが開通した名古屋瀬戸道路と東名高速道路が接続し、県外からのアクセスも容易となっている。

愛知青少年公園の位置



### 1.3 公園の位置付け

愛知青少年公園は、平成14年に、都市公園（広域公園）として整備することが、都市計画に定められた。

都市公園とは

- ・都市公園とは都市公園法に基づいて設置される公園である。
- ・良好な都市環境の形成、防災など都市の安全性向上、レクリエーション活動の場の確保、都市景観の向上を図ることなどを目的としている。

広域公園とは

- ・都市公園の種別のひとつである。
- ・一つの市町村の区域を超える広域レクリエーション需要を充足することを目的とする公園で、交通の利便の良い土地に配置する。面積は概ね50ha以上である。
- ・愛知県内の広域公園・国営公園の位置は下図に示すとおりである。

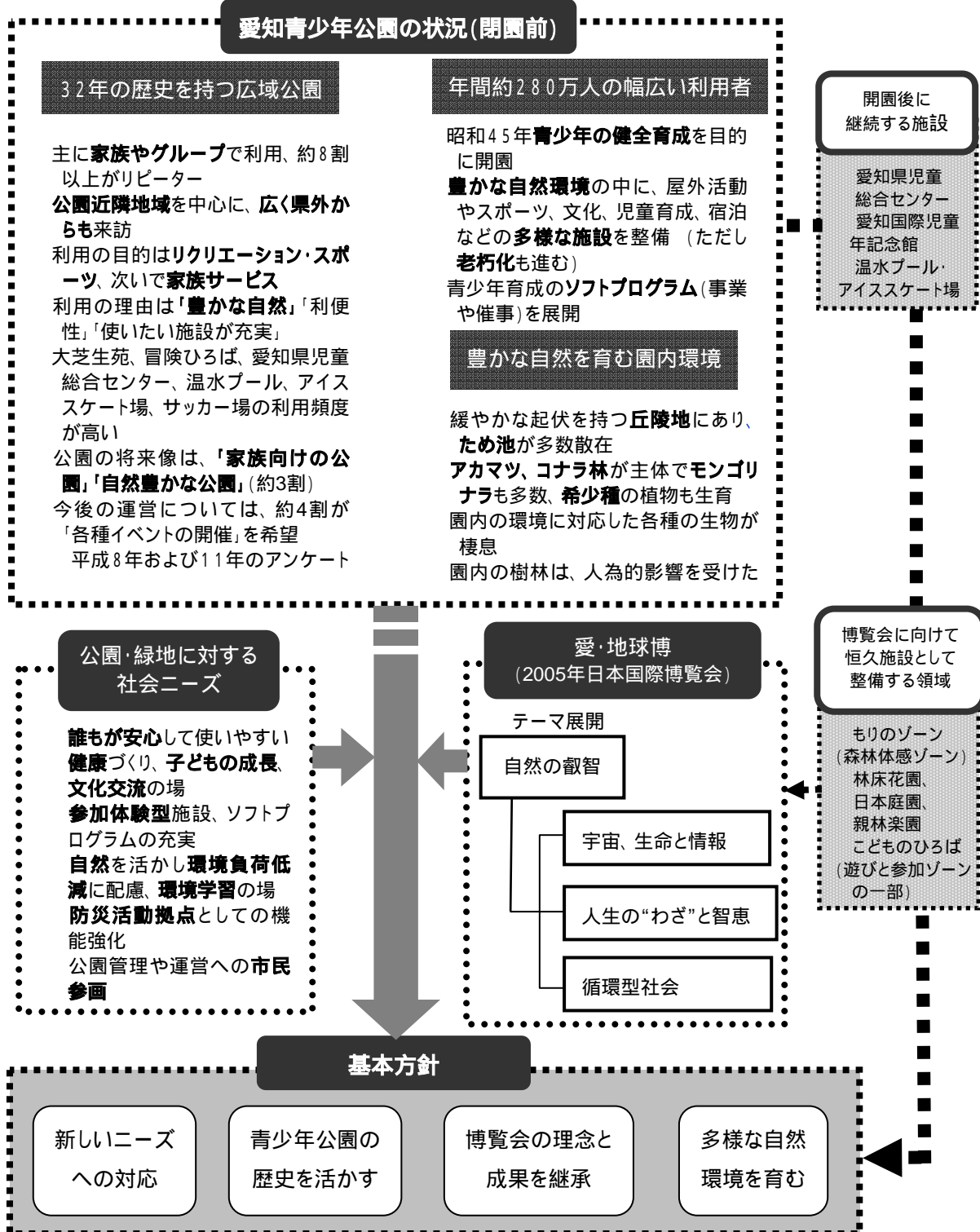
一つの都府県の区域を越えるレクリエーション需要に対応、あるいは国家的記念事業として国が整備する公園

愛知県内の広域公園・国営公園



## 1.4 基本方針とその経緯

新しい愛知青少年公園の整備の基本方針は、平成14年の都市計画決定に際して設定された。閉園前32年に及び愛知青少年公園の歴史や利用状況、園内環境の特性や、公園・緑地に対する社会ニーズ、愛・地球博開催等の背景を踏まえ、4つの基本方針が設定された。



## 1.5 閉園前の公園と博覧会時の状況

愛知青少年公園は、青少年の健全な育成を図ることを目的として昭和45年11月1日に開園した。緑豊かな丘陵地に囲まれた自然環境の中にスポーツ、レクリエーション、宿泊、集会等のための充実した施設を整備し、多彩なソフトプログラムを展開してきた。

約32年間にわたって多くの人々に愛されてきた本公園は、「2005年日本国際博覧会『愛・地球博』」の主会場となるため、平成14年3月31日をもって閉園した。

閉園前の公園は、恵まれた自然環境が魅力となっていた。自然地形が残る公園の東側から南側にかけては、コナラやアカマツの二次林が繁り、樹林には立地環境が乾燥地であることを示す「モンゴリナラ」が多く含まれている。また、ため池や湿地には希少性の高い動植物の生育が確認されている。公園の北側と西側は、各種施設や大広場、園路などが設置され、植生は主に芝草地と造園樹木植栽地となっている。

公園の利用者数は、昭和47年以降、年間約240万人～290万人程度を推移してきた。利用者は家族やグループを中心とするリピーターが多かった。

公園内の主な施設とその利用状況は次のとおりである。屋外運動施設としては野球場、サッカー場、陸上競技場、テニスコートが設置されており、また、野外活動施設としてキャンプ場やサイクリングロードがあった。さらに、体育文化棟には文化室、会議室、体育館が設置されており、陶芸教室や絵画教室などに利用されてきた。平成6年には温水プール・アイススケート場がオープンした。野外の広場などでは、大芝生苑、冒険ひろば、児童遊園地がよく利用されていた。

その他の特徴ある施設としては、国際児童年の趣旨を継承して、児童の健全育成を目的に開設された「愛知国際児童年記念館」がある。子どもホールや童話館を備えており、人形劇、コンサート、映画会などが催されてきた。また、「愛知県児童総合センター」は、21世紀を担う児童の健全育成を総合的に推進していくための拠点として開設され、プレイアトリウムを中心に、造形スタジオ、クッキングスタジオ、サウンドスタジオなどで多彩なプログラムを展開し、年間約50万人の来館者を集めてきた。

平成14年3月31日の閉園後、博覧会の主会場としての工事が開始され、平成17年3月25日に2005年日本国際博覧会が開会された。博覧会施設の中には、「森林体感ゾーン」や「遊びと参加ゾーンの遊戯施設」など、博覧会終了後も本公園の施設として利用することを前提に整備した施設（詳細は次項参照）がある。

以下に、閉園前の愛知青少年公園と博覧会時の公園の状況を示す。



# 愛知青少年公園(閉園前)

**INDEX**

- バスルート (Bus Route)
- サイクリングロード (Cycling Road)
- 一般園路 (General Path)

**野球** (Baseball)

**テニス** (Tennis)

**サイクリング** (Cycling)

**夏水プール** (Summer Water Pool)

**陶芸教室** (Pottery Classroom)

**愛知児童総合センター内部** (Interior of Aichi Children's Comprehensive Center)

**キャンプ場** (Campsite)

**アイススケート場** (Ice Skating Rink)

**大芝生** (Large Lawn)

**ジャブジャブ池** (Jab Jab Pond)

**夏水プール** (Summer Water Pool)

**夏1キャンプ場** (Summer 1 Campsite)

**夏2キャンプ場** (Summer 2 Campsite)

**夏3キャンプ場** (Summer 3 Campsite)

**夏4キャンプ場** (Summer 4 Campsite)

**夏5キャンプ場** (Summer 5 Campsite)

**夏6キャンプ場** (Summer 6 Campsite)

**夏7キャンプ場** (Summer 7 Campsite)

**夏8キャンプ場** (Summer 8 Campsite)

**夏9キャンプ場** (Summer 9 Campsite)

**夏10キャンプ場** (Summer 10 Campsite)

**夏11キャンプ場** (Summer 11 Campsite)

**夏12キャンプ場** (Summer 12 Campsite)

**夏13キャンプ場** (Summer 13 Campsite)

**夏14キャンプ場** (Summer 14 Campsite)

**夏15キャンプ場** (Summer 15 Campsite)

**夏16キャンプ場** (Summer 16 Campsite)

**夏17キャンプ場** (Summer 17 Campsite)

**夏18キャンプ場** (Summer 18 Campsite)

**夏19キャンプ場** (Summer 19 Campsite)

**夏20キャンプ場** (Summer 20 Campsite)

**夏21キャンプ場** (Summer 21 Campsite)

**夏22キャンプ場** (Summer 22 Campsite)

**夏23キャンプ場** (Summer 23 Campsite)

**夏24キャンプ場** (Summer 24 Campsite)

**夏25キャンプ場** (Summer 25 Campsite)

**夏26キャンプ場** (Summer 26 Campsite)

**夏27キャンプ場** (Summer 27 Campsite)

**夏28キャンプ場** (Summer 28 Campsite)

**夏29キャンプ場** (Summer 29 Campsite)

**夏30キャンプ場** (Summer 30 Campsite)

**夏31キャンプ場** (Summer 31 Campsite)

**夏32キャンプ場** (Summer 32 Campsite)

**夏33キャンプ場** (Summer 33 Campsite)

**夏34キャンプ場** (Summer 34 Campsite)

**夏35キャンプ場** (Summer 35 Campsite)

**夏36キャンプ場** (Summer 36 Campsite)

**夏37キャンプ場** (Summer 37 Campsite)

**夏38キャンプ場** (Summer 38 Campsite)

**夏39キャンプ場** (Summer 39 Campsite)

**夏40キャンプ場** (Summer 40 Campsite)

**夏41キャンプ場** (Summer 41 Campsite)

**夏42キャンプ場** (Summer 42 Campsite)

**夏43キャンプ場** (Summer 43 Campsite)

**夏44キャンプ場** (Summer 44 Campsite)

**夏45キャンプ場** (Summer 45 Campsite)

**夏46キャンプ場** (Summer 46 Campsite)

**夏47キャンプ場** (Summer 47 Campsite)

**夏48キャンプ場** (Summer 48 Campsite)

**夏49キャンプ場** (Summer 49 Campsite)

**夏50キャンプ場** (Summer 50 Campsite)

**夏51キャンプ場** (Summer 51 Campsite)

**夏52キャンプ場** (Summer 52 Campsite)

**夏53キャンプ場** (Summer 53 Campsite)

**夏54キャンプ場** (Summer 54 Campsite)

**夏55キャンプ場** (Summer 55 Campsite)

**夏56キャンプ場** (Summer 56 Campsite)

**夏57キャンプ場** (Summer 57 Campsite)

**夏58キャンプ場** (Summer 58 Campsite)

**夏59キャンプ場** (Summer 59 Campsite)

**夏60キャンプ場** (Summer 60 Campsite)

**夏61キャンプ場** (Summer 61 Campsite)

**夏62キャンプ場** (Summer 62 Campsite)

**夏63キャンプ場** (Summer 63 Campsite)

**夏64キャンプ場** (Summer 64 Campsite)

**夏65キャンプ場** (Summer 65 Campsite)

**夏66キャンプ場** (Summer 66 Campsite)

**夏67キャンプ場** (Summer 67 Campsite)

**夏68キャンプ場** (Summer 68 Campsite)

**夏69キャンプ場** (Summer 69 Campsite)

**夏70キャンプ場** (Summer 70 Campsite)

**夏71キャンプ場** (Summer 71 Campsite)

**夏72キャンプ場** (Summer 72 Campsite)

**夏73キャンプ場** (Summer 73 Campsite)

**夏74キャンプ場** (Summer 74 Campsite)

**夏75キャンプ場** (Summer 75 Campsite)

**夏76キャンプ場** (Summer 76 Campsite)

**夏77キャンプ場** (Summer 77 Campsite)

**夏78キャンプ場** (Summer 78 Campsite)

**夏79キャンプ場** (Summer 79 Campsite)

**夏80キャンプ場** (Summer 80 Campsite)

**夏81キャンプ場** (Summer 81 Campsite)

**夏82キャンプ場** (Summer 82 Campsite)

**夏83キャンプ場** (Summer 83 Campsite)

**夏84キャンプ場** (Summer 84 Campsite)

**夏85キャンプ場** (Summer 85 Campsite)

**夏86キャンプ場** (Summer 86 Campsite)

**夏87キャンプ場** (Summer 87 Campsite)

**夏88キャンプ場** (Summer 88 Campsite)

**夏89キャンプ場** (Summer 89 Campsite)

**夏90キャンプ場** (Summer 90 Campsite)

**夏91キャンプ場** (Summer 91 Campsite)

**夏92キャンプ場** (Summer 92 Campsite)

**夏93キャンプ場** (Summer 93 Campsite)

**夏94キャンプ場** (Summer 94 Campsite)

**夏95キャンプ場** (Summer 95 Campsite)

**夏96キャンプ場** (Summer 96 Campsite)

**夏97キャンプ場** (Summer 97 Campsite)

**夏98キャンプ場** (Summer 98 Campsite)

**夏99キャンプ場** (Summer 99 Campsite)

**夏100キャンプ場** (Summer 100 Campsite)

博覧会時

博覧会後も利用する恒久施設  
として整備するもの

森林体感ゾーン  
遊びと参加ゾーンの遊戯施設

**イメージ**

東部丘陵線(リニモ)  
愛知県児童総合センター  
万博会場駅  
プール・アイススケート場  
環境教育プログラムの水小屋  
地下水の始まりを学ぶ休憩所  
森の中の幹線園路  
遊びと参加ゾーン(遊戯施設のエリア)  
森のエリア遊具  
風のエリア遊具  
水のエリア遊具  
森林体感ゾーン

## 1.6 博覧会前整備区域の概要

平成14年の都市計画決定の際に設定した基本方針に基づき、愛知青少年公園の一部については、博覧会の会場づくりと連携しつつ、博覧会後も利用する恒久施設として平成16年度末までに整備している。

博覧会前に整備を行った主な区域は、「もりのゾーン」(博覧会時の「森林体感ゾーン」と、「こどものひろば」(博覧会時の「遊びと参加ゾーン」)の中の「自然体感遊具」である。

### 「もりのゾーン」

「もりのゾーン」の整備の基本的な考え方は以下に示すとおりである。

<整備の基本的な考え方>

もりのゾーンに生息する多様な生物や自然環境を保全・育成

誰もが森に入って楽しめるようユニバーサルデザインされた園路や広場の整備

環境負荷低減に配慮

伝統と文化を学び、ふれあう日本庭園を整備

また、「もりのゾーン」は、「林床花園」「日本庭園」「親林楽園」の3つのエリアで構成されている。

### 「こどものひろば」

「こどものひろば」の整備の基本的な考え方は以下に示すとおりである。

<整備の基本的な考え方>

既設の愛知県児童総合センター、愛知国際児童館と連携し、子どもの遊び、自然体験学習の場を整備

自然の力や仕組みを体感する遊戯施設を整備

先行整備される「こどものひろば」の「自然体感遊具」の区域は、「森のエリア」「水のエリア」「風のエリア」の3つに分けられている。

なお、次頁以降に、各エリアの整備概要についてとりまとめた。



## <「もりのゾ-ン」博覧会前整備概要>

### 基本的な考え方

- もりのゾ-ンに生息する多様な生物や自然環境を保全・育成
- 誰もが森に入って楽しめるようユニバーサルデザインされた園路や広場の整備
- 環境負荷低減に配慮
- 伝統と文化を学び、ふれあう日本庭園を整備

### 林床花園

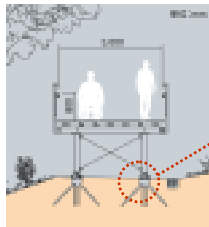
樹林地の間伐を行い、林床部や林縁部に花木や草花の自生を促し、四季折々の風景が楽しめる空間を造る。  
園路にはユニバーサルデザインを導入し、お年寄りから小さなお子様まで多くの方が楽しめる森とする。



ユニバーサルデザインの園路



幹線園路エレベータ棟



幹線園路デッキ部 断面図



少ない「ピン」杭工法



### 自己完結型トイレ

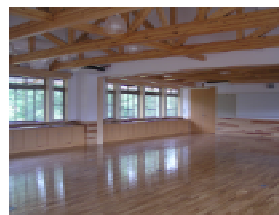
汚水をバクテリアで分解後、加熱して水分と残渣に分離。水分は脱臭してトイレ洗浄水などに循環利用する。(残渣は蓄積して処分)



環境観察デッキ

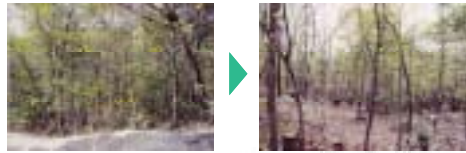


フィールドセンター外観



センター内部

樹林地の間伐 今まで放置されていた樹林地環境を間伐により改善



「もりのゾ-ン」計画平面図



### 親林楽園

フィールドセンター内での環境学習や体験教室をはじめ、樹林地内での活動を通じて身近な自然にふれあい学習し、自然環境への理解を深める。  
博覧会時には、「森林体感ゾ-ン」で展開される環境学習プログラムの活動拠点となる。

### リサイクルセンター

- 公園内の植物系廃棄物(刈草・剪定枝葉)などを堆肥化して園内に還元。
- 環境学習プログラムの実践の場(緑の循環の仕組みを学ぶ)

### 日本庭園

周辺を小高い山に囲まれ、内には大小の池を抱える - という自然の地形を活かし、先達の巧みな庭園技法により人のわざと自然が織りなす美を表現。また、「水」をテ-マとしており、岩組や渦巻きの水の流れなど、様々に変化する水の様態を鑑賞できる。



### 環境学習の場としての活用

樹林地内での野外活動やフィールドセンターにおける環境学習活動、四季折々の自然とのふれあい、環境負荷低減への取り組みを学ぶことなど、環境学習の場として活用。

### 博覧会プログラム「森の自然学校」 ~森の中で五感と想像力を使う体験プログラム~

博覧会では、もりのゾ-ンを活用して自然とふれあう体験プログラムを展開し、参加・体験を通じて自然と人との関係を見直すきっかけを提供。



## <「こどものひろば」(自然体感遊具) 博覧会前整備概要>

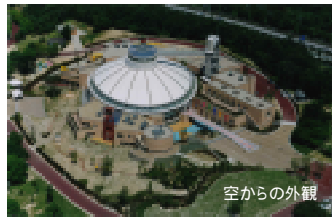
### 基本的な考え方

既設の愛知県児童総合センター、愛知国際児童  
年記念館と連携し、子どもの遊び、自然体験学  
習の場を整備

自然の力や仕組みを体感する遊戯施設を整備

### 愛知県児童総合センター

- ・設置目的: 児童の健全育成と子育て環境づくりの推進
- ・設置主体: 愛知県
- ・開設: 平成8年
- ・施設: プレイアトリウム、発見・体験・創作ゾーンなど



空からの外観



遊びのプログラム活動を実践

### 愛知国際児童年記念館

- ・設置目的: 児童の健全育成
- ・設置主体: 国(厚生労働省)
- ・開設: 昭和56年
- ・施設: 子どもホール、童話館、ビデオ室など



外観

### こどものひろば 計画平面図



### 森のエリアの遊具

ユニバーサルデザインの園路上に、「森」  
を体感できる遊戯施設を整備

- ・森の音を聴き、動物の目を疑似体験し  
て森が見られる遊具(下イメージ図)
- ・森の夜空を疑似体験できる遊具
- ・木の楽器で音を奏でる遊具



### 水のエリアの遊具

川の仕組みを体験できる河原の再現と水の力で遊ぶ

- ・小石を自由に動かして山や川を作ったり、ジャブジャブ遊べる池
- ・足こぎ水車、アルキメデスの水車



アルキメデスの水車

### 博覧会プログラム

### 「グローイング・ヴィレッジ」

~「自然の中で、遊び、育つ」プログラムを展開~

博覧会では、木登りなどの遊びをとおして、子ども  
たちに自然の叡智・「グローイング(育み・育てる)」  
を体験してもらおう場となる。



グローイング・ヴィレッジ イメージ

### 風のエリアの遊具

このエリアのランドマークとなる遊戯施設を整備

- ・風の力が学べる風車
- ・地中と外気の温度差が体感できるチューブ



## 1.7 懇話会の概要

愛知青少年公園の計画策定に先立ち、平成16年5月12日、松井寛（まついひろし）名古屋工業大学名誉教授を座長に、また涌井雅之（わくいまさゆき）桐蔭横浜大学教授を副座長として、「21世紀にふさわしい公園を考える懇話会」を開催した。

以下に懇話会の概要および主な意見をまとめる。

本公園の計画策定における「21世紀にふさわしい公園づくり委員会」委員長

### 日 時

平成16年5月12日（水） 午後1時から午後4時

### 場 所

名鉄ニューグランドホテル

### 委 員（敬称略、五十音順）

座 長：松 井 寛（名古屋工業大学名誉教授、名城大学教授）

副座長：涌 井 雅 之（桐蔭横浜大学教授、  
（財）2005年日本国際博覧会協会 会場演出総合プロデューサー）

委 員：阿 蘇 裕 矢（静岡文化芸術大学教授）  
今 井 啓 之（レクリエーション・コーディネーター）  
小 川 巧 記（（財）2005年日本国際博覧会協会 市民参加プロデューサー）  
加 賀 昭 一（県小中学校長会副会長）  
小 出 宣 昭（中日新聞取締役編集局長）  
土 屋 千 尋（愛知県立大学教授）  
土 居 友 二（（社）中部経済連合会総務部長兼万博推進担当部長）  
中 野 良 子（女優、W I L L 国際文化交流センター代表）  
萩 原 喜 之（NPO中部リサイクル運動市民の会 代表理事）  
林 進（岐阜大学名誉教授）  
松 尾 宗 典（茶道松尾流家元）  
三 井 政 昭（（財）愛知県体育協会事務局長）  
夢 童 由 里 子（造形作家）  
安 井 里 枝（スポーツ少年団指導者）

## 意見概要

(記者会見でのブリーフィング内容より。出席者：松井座長、涌井副座長)

### 市民協働を実践できる公園

今回の博覧会は、従来の「国家」「グローバル企業」というふたつのエンジンに加え、「市民参加」という3つめのエンジン(理念)が柱となっている。これは博覧会史上初めての特色であり、青少年公園の計画にも継承していくことが重要である。「市民協働」を実践できる公園であってほしい。

### 幅広い世代交流の場

「新しいニーズ」を的確にとらえることが大切であり、ニーズを分析する必要がある。「青少年公園」の名前にとらわれずに、高齢者や社会的弱者が青少年と共に参加し、交流し、触発しあうことができる公園づくりを進めてほしい。

### プレイリ-ダ-・インタ-プリタ-の養成、防災教育の場

公園を利用し楽しむだけでなく、例えば、環境・生命・スポーツ・レクリエーション・自然観察などのプレイリーダーやインタープリターの教育・訓練の場として活用できると良い。公園周辺5大学との連携も考えられる。とりわけ、新しい要素として「防災」について教育・訓練できる場として活用できると良い。

### 環境先進県・愛知にふさわしい公園

愛知県は、特に「ものづくり」における環境産業、暮らしにおける環境分野において先進県である。こうした「環境先進県」にふさわしい公園を目指してほしい。

### 地域資源を生かしながらリラックスし癒される公園

地域にある資源(歴史、文化、産業)を活かしながら、利用者がリラックスし、癒される公園としてほしい。

### パークマネ-ジメント、公園経営に重心を置く

これまでのように単に公園をつくっておしまいではなく、これからは維持管理まで含めたトータルコストに視点をおきながら、パークマネージメント・公園経営に重心をおいた公園計画としていくべきである。

## 懇話会の様子





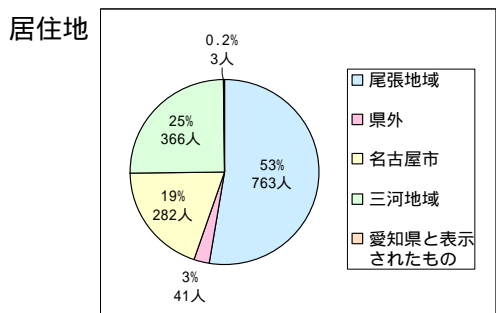
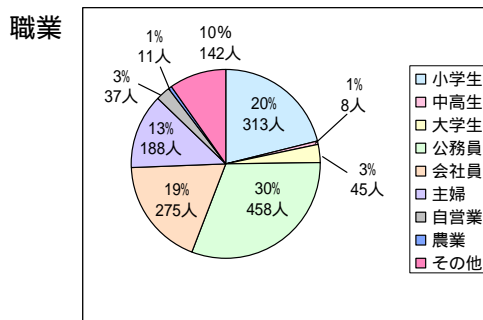
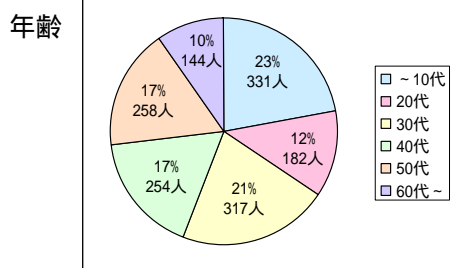
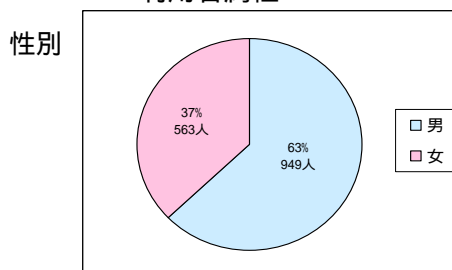
## 1.8 県民意見聴取（アンケート調査）

懇話会に続いて、幅広い県民の意向を調べるため、県民意見聴取（アンケート調査）を実施した。

希望する利用形態についての質問では、「自然の中での憩い、交流、気軽な健康づくり」への要望が多く、将来の公園像として「くつろぎ・憩いの場、人にやさしい公園」がイメージされていた。また、管理・運営への参加については「行事・イベントへの協力」に対する参加希望者が多いという結果となった。

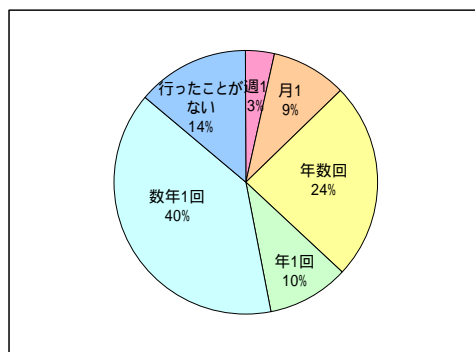
回答者数: 1532人  
 調査期間: 平成16年6月14日～7月13日  
 調査方法: 一般 郵送、愛知県HP、小学生 小学校にて直接アンケート

利用者属性



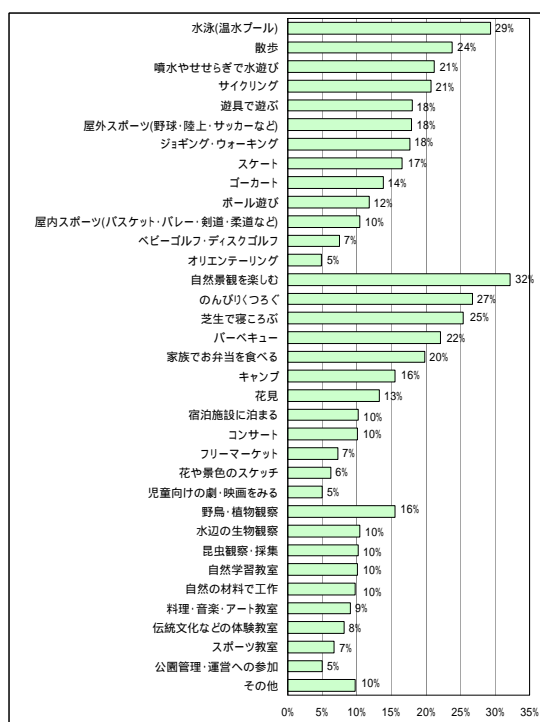
利用回数

・8割以上が利用したことがある



希望する利用形態（5つまで選択可）

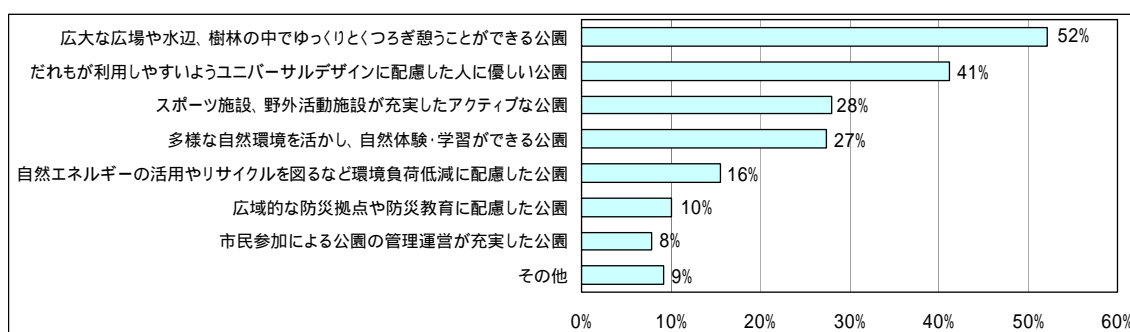
・自然の中での憩い、交流、気軽な健康づくり利用を希望している





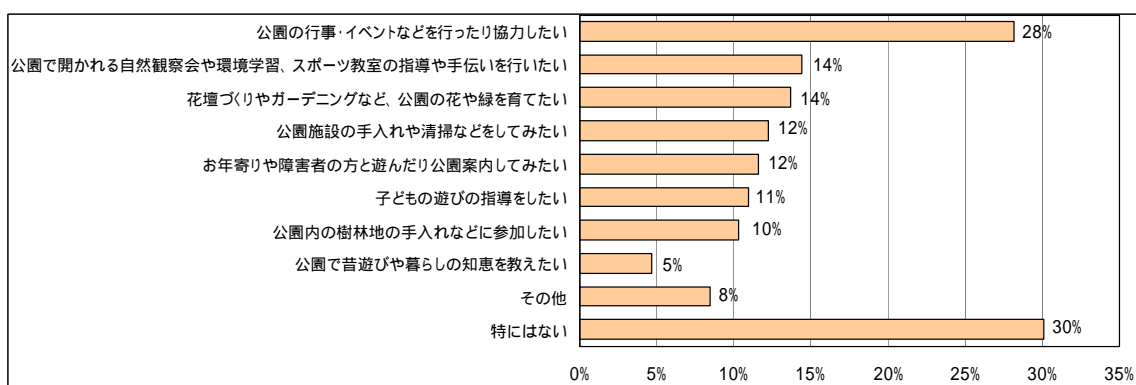
### 将来の公園イメージ (2つまで選択可)

- ・くつろぎ・憩いの場、人にやさしい公園をイメージしている



### 管理・運営への参加 (該当するもの全て選択可)

- ・行事・イベントへの協力への参加希望が多い



### 自由意見 (回答数842件)

- ・自然を壊さないで芝生や原っぱで自由に遊べる自然豊かな公園。(回答数223件)
- ・安全で気楽に行くことができ、老若男女を問わずのんびりくつろぎ楽しめる公園。(回答数210件)
- ・遊具遊びやスポーツ活動ができる公園。(回答数94件)
- ・児童総合センターやスポーツ施設、キャンプ場、スケート場、サイクリングロードなど青少年公園にはたくさんの思い出があり、新しい公園にもこれまでの良さを残して欲しい。(回答数80件)
- ・万博の理念を継承し、その遺産を次世代につないでいくことが21世紀にふさわしい公園であると思う。万博で利用した施設や内容をうまく公園づくりに活かしていく。(回答数54件)
- ・公園の管理に市民が参加し、運営もNPOや学生ボランティアと共に行って欲しい。また、維持管理を含めたトータルコスト面にも留意が必要。(回答数54件)
- ・自然や環境全般などについて楽しく学んだり、体験学習できる公園。(回答数43件)